

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【公開番号】特開2012-166324(P2012-166324A)

【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2011-31257(P2011-31257)

【国際特許分類】

B 26 D 7/22 (2006.01)

B 26 D 1/24 (2006.01)

【F I】

B 26 D 7/22 A

B 26 D 1/24 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月10日(2014.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

用紙を切断するための切断ユニットと、

前記用紙の搬送方向と交差する方向に前記切断ユニットを移動させる移動手段と、

前記移動手段を駆動するモータと、

前記モータの電流値を検出する検出手段と、

前記用紙の切断のために所定の位置から移動を開始した前記切断ユニットが、移動開始から切断を終了するまでに要する用紙切断時間を取得し、前記切断ユニットが移動を開始してから前記用紙切断時間が経過してから、切断終了後に停止する停止位置に移動するまでの間に、前記電流値の状態を判定し、判定結果に基づいて、前記モータの駆動を停止させる制御手段と

を備えることを特徴とする用紙切断装置。

【請求項2】

前記制御手段は前記用紙の幅に関する情報と、前記切断ユニットの移動速度に関する情報を取得し、取得した情報に基づいて前記用紙切断時間を取得することを特徴とする請求項1に記載の用紙切断装置。

【請求項3】

前記切断ユニットが前記停止位置に到達したことを検出する到達検出手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の用紙切断装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記電流値が閾値を超えたと判定した場合、前記モータの駆動を停止することを特徴とする請求項1に記載の用紙切断装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記電流値の所定時間あたりの増加が閾値を超えたと判定した場合、前記モータの駆動を停止することを特徴とする請求項1に記載の用紙切断装置。

【請求項6】

請求項1に記載の用紙切断装置と記録ヘッドとを備えたことを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するため、本発明の一態様による用紙切断装置は、用紙を切断するための切断ユニットと、前記用紙の搬送方向と交差する方向に前記切断ユニットを移動させる移動手段と、前記移動手段を駆動するモータと、前記モータの電流値を検出する検出手段と、前記用紙の切断のために所定の位置から移動を開始した前記切断ユニットが、移動開始から切断を終了するまでに要する用紙切断時間を取得し、前記切断ユニットが移動を開始してから前記用紙切断時間が経過してから、切断終了後に停止する停止位置に移動するまでの間に、前記電流値の状態を判定し、判定結果に基づいて、前記モータの駆動を停止させる制御手段とを備える。